

北海道身体障害者新聞

発行人
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
会長 田中利和
札幌市中央区北2条西7丁目(かてる2・7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
隔月 25日発行
会員購読料(年) 90円
(会費を含む)
非会員 同 2,000円

第73回 全道身体障害者福祉大会 帯広大会

令和7年9月29日(月)、帯広市において、全道身体障害者福祉大会を、北海道身体障害者福祉協会と帯広身体障害者福祉協会が主催し、開催いたしました。



220名の方々にお集まりいただきました。

最初に物故者に黙祷を捧げた後、大会長を務める北海道身体障害者福祉協会の田中会長から挨拶があり「昨年、改正障害者差別解消法が施行され、民

間事業者による合理的配慮の提供が義務化され、実効性を高めるためには、地域において心のバリアフリー化への理解を深め、普及していくことが重要であり、今後とも関係団体や企業とともに誰もが住みやすい地域社会を目指し、「一層努力したい」と決意を述べました。開催地の米沢市長から、全道各地からの参加者を歓迎するとともに帯広市においては、「フードバレー」と「ち」の取り組みのもと、十勝の豊かな食や自然、そして地域資源を最大限に生かしながら、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを進めていることについて話されました。

この後、障害を克服して自立活動に励んでこられた方や永年にわたり障害のある方々の更生援護に尽くされた方に北海道善行賞が贈られ、受賞者5名のうち、大会に出席した3名に北海道十勝総合振興局の野口局長から表彰状が授与されました。また、日身連からの会長表彰1名に続いて、北身協から自立更生者4人、援護功労者11人、特別功労者2名に対し、会長表彰が贈られ、出席した9名に田中会長が表彰状が授与されました。

第73回 全道身体障害者福祉大会 帯広大会



表彰を受けられたみなさま

来賓からは鈴木直道知事の祝辞を野口局長が代読。受彰者をねぎらうとともに「道としては、ほかかいどう福祉プランのもと、障がいに対する理解促進を図るとともに、災害対応の強化を含め、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け市町村・支援団体などと連携しながら施策に取り組む」とのメッセージが寄せられました。

伊藤北海道議会議長からは、受賞者へのお祝いのこととともに「すべての人が障がいの有無によって分け隔てることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会の実現に向け、引き続き、関係する皆様と連携し、力を尽くしていく」旨を述べられました。

横山帯広市議会議長からは、「障害の有無にかかわらず、全ての市民が、いきいきと心豊かに暮らせるまちづくりに向けて、引き続き、議会として役割を果たしていく」旨を述べられました。

続いて、帯広市の千葉絵里菜さんから「ゆめ、出会い、感謝」車いすママのできることと題して、ご自身のこれまでの経験などを踏まえ、多くの人の支えに感謝するとともに障害があってもなくても本人のやる気があれば可能性は無限大であること、今後については、全国各地の学校で講演をしたい、また、重度訪問介護事業所を開き、みんなが楽しく過ごせる社会をつくりたいとの抱負を述べられた講演をいただきました。



千葉絵里菜さんの講演

全体会議では、宿泊施設のバリアフリー化の推進についてや、北海道知事会見への字幕付与について、聴覚障害者への支援の推進について、盲ろう者通訳・介助員に係る費用負担についてを道など関係機関に要望していくことを決議しました。

また、障害によって分け隔てられることなく、誰もが安全安心に暮らせる地域共生社会の実現を目指し、一致団結して行動することを旨とする大会宣言を承認しました。

来年の大会は、札幌市で9月下旬の開催を予定しています。

表彰を受けられた皆様

受賞おめでとうございます。



北海道善行賞受賞者

【自立活動者】

当別町 西川 英子

【自立支援功労者】

紋別市 藤田 孝太郎
滝川市 川口 きよ子
函館市 松尾 悦子
長沼町 山上 八重子

日本身体障害者福祉連合会
会長表彰受賞者

白糠町 石田 正義

北海道身体障害者福祉協会
会長表彰受賞者

【自立更生者】

北見市 井下 正幸
厚真町 富永 洋子
せたな町 正浩
せたな町 節男

【援護功労者】

北見市 白幡 浩
小樽市 安宅 幸代
函館市 坂本 悦子
八雲町 佐橋 忠男
仁木町 妹尾 和治
せたな町 平川 孝喜
砂川市 大橋 俊彦
豊頃町 高野 政勝
浦幌町 熊野 孝雄
帯広市 阿保 武男
登別市 荒木 やよい

【特別功労者】

士別市 西田 悦朗
岩見沢市 鎌田 勇
(敬称略)

これからも、みなさまの益々の活躍を、ご祈念いたしております。

障がい者パソコン教室

美唄身体障害者福祉協会

令和7年8月22日(金)、美唄市総合福祉センターばぶらにてパソコン教室を開催しました。

講師は例年通り澁谷茂先生をはじめとしたシルバー人材センターの方にお願ひし、お手伝いの方を含め8名の方がきてくださり、会員7名とともにパソコンを学ぶ賑やかな教室になりました。



多くの方々と親睦・交流ができ、楽しいひと時でした。

今回は「やさしい名刺づくり」をテーマに、堅くなりすぎないカジュアルな名刺づくりを行いました。

花や風景の画像や、Wordに入っている吹き出しや四角、丸などの図形を駆使し、会員の好みに合わせたレイアウトの名刺が出来上がり、会員同士やシルバー人材センターの方とカラフルに彩られた個性的な名刺を見せ合いました。

帯広身体障害者福祉協会

令和7年9月8日(月)9日(火)、帯広しグリーンプラザにてワークフロア清流(就労継続支援B型事業所)の斉藤所長を講師にお迎えし、パソコン教室を開催しました。

初日は、自分で作りたいものを講師と助手の方々に教えてもらいながら、案内状やカレンダーなどを作成しました。中には、集中力が維持できない方もいましたが、和気あいあいとした雰囲気が進めることができました。

2日目は、今年は帯広で全道障害者福祉大会が開催されるにあたり、参加者みなさんにポストカードをおみやげの一品にすることにしました。十勝に関わる写真を探してハガキにプリントアウトしました。250枚の素敵なポストカードができました。



誰のおみやげの袋に入るかな…

盲ろう者通訳・介助員 養成講座

9月13日(土)～10月19日(日)、道民活動センターにて全8回開催しました。

今年は、5月に開催した現任研修について北海道新聞に記事を掲載していただいたことから、定員を超える受講希望者がありました。



盲ろう者通訳・介助員になるために、たくさんの方が集まってくれました。

1日目は、盲ろう者の概論から始まり、盲ろう疑似体験をしたり、移動介助の基本姿勢などについて学びました。



様々な場面での移動



指点字

2日目は、視覚障害についての講座や、コミュニケーション方法の指点字や手書き文字の実習をしました。



手書き文字

3日目は、弱視の盲ろう者や、弱視手話・触手話について学びました。一言で視覚障害といっても、見え方や視野など、人によって様々です。



ドアの通過場面

ドアを通過する時や、椅子に座る時の介助について実習しました。



椅子に座ります。

4日目は、音声でのコミュニケーション方法や、階段での移動介助の実習をしました。

5日目は、聴覚障害についての講座のあと情報伝達の技術について学び、食事の体験をしたり、屋外で横断歩道での移動介助実習をしました。屋外では、車など屋内より危険な場面が増えるのでより一層配慮が必要です。



横断歩道を渡ります。

6日目は、買い物の通訳・介助について実習しました。どのお店に行くか、品物を選んで、レジでの会計など、様々な場面があります。

7日目は、盲ろう者の日常生活とニーズについて学び、通訳・介助員の派遣事業と業務や北海道の障がい福祉施策についてお話を聞きました。



一緒にランチタイム

通訳・介助員は、ただ「状況を伝えればいい」「行きたい所に行ければいい」のではありません。通訳・介助員として知識や技術だけでなく、「豊かな支援」ができるよう、盲ろう者に気持ちの向き、あたたかい想いをもち続けたいと思っています。



「安心・安全」が大事!

受講生は緊張と不安でいっぱいでしたが、一生懸命取り組んでいました。

8日目は、今年度の受講修了者が対象となる「フォローアップ講座」で、養成講座の集大成となります。実際に、通訳・介助員として派遣依頼を受けて、現場で活動することを想定しての演習でした。

「国際盲ろうの日」



国連が6月27日を「国際盲ろうの日」と宣言しました。

去る6月16日に、国連総会は「国際盲ろうの日」決議案を無投票で採択し、6月27日を「国際盲ろうの日」と正式に宣言しました。

この決議案は、日本を含む99ヶ国が共同提案国となり、実現したもので、国連総会には、すべての加盟国と国連機関に対し、社会のあらゆる側面における盲ろう者のエンパワーメントとインクルージョンを促進するよう呼びかけました。

6月27日という日は、ヘレン・ケラーの誕生日にあたります。

この歴史的な記念日の宣言を受けて、世界盲ろう者連盟のサンニャ・タルツアイ氏会長は、「この決議は、組織化された市民社会のスピードと有効性を示す力強い例です。盲ろう者をこれ以上置き去りにしてはならないという明確なメッセージを送っています。」と述べました。

(社会福祉法人全国盲ろう者協会HPより)

賛助会員の皆様へ
心より感謝申し上げます。

「障害者の福祉の向上に寄与する」という本協会の趣旨にご賛同いただき、ありがとうございます。

◆北海道博愛舎様

◆更葉園様

◆北海道失語症友の会
「北の会」様

◆つうけん様

◆ドーコン様

(令和7年10月末日迄分)

令和8年度の行事予定

★定時総会

6月11日(木)13時30分

★事務担当者会議

8月6日(木)13時30分

文芸

俳句



岩見沢市

池田

北陽

枝豆や挽くも手間なりありがたう

朝顔の紫染みて微笑みて

稲架掛けの手元に束をその昔

一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社
札幌義肢製作所

代表取締役 関 喬

札幌市中央区北五条西十一丁目六
電話代表(〇一一)二四一〇九八六番

株式会社
馬場義肢製作所

函館市豊川町一五〇一七 〇三三二二六二五番
札幌市北七条二丁目 〇一七四三三〇三番
室蘭市母恋北町一三〇六 〇四三二五五九番
釧路市富士見一五〇九 〇二五四四一三五六番

株式会社
田村義肢製作所

札幌市中央区北四条東五丁目
電話(〇一一)代〇二七七七番
帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(〇一五)二七二四八九番

安心と実績で全道をネットする
認定補聴器専門店-

岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南二条西3丁目 東南カド

札幌駅前店 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

元町店 札幌市東区北22条東16丁目1-10 メーブル元町1F

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉並町18-20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1

室蘭店 室蘭市最中町3丁目25-1 TMビル

お問い合わせ
フリーダイヤル 0120-231-282

本社 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南二条西3丁目南東カド

公益財団法人北海道対がん協会

会長 加藤 元嗣

事務局・札幌がん検診センター
札幌市東区北26条東14丁目1-15
電話011(748)5511

旭川がん検診センター
旭川市末広東2条6丁目6番10号
電話0166(53)7111

釧路がん検診センター
釧路市愛国東2丁目3番1号
電話0154(37)3370

バッグの製作・修理等・革製品で
お困りの方はご相談ください

NPO 法人
砂川つばさ

砂川市東五条南四丁目二一十二
FAX 話(〇一一)二五五二八三六
FAX 話(〇一一)二五五二八三六

HOP
ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北十四条東十四丁目二五 光星ビル
TEL 〇一一七四八六二二
FAX 〇一一七四八六二二

◆障害者支援施設
◆障害福祉サービス事業所
◆特別養護老人ホーム
◆障害児通所支援事業
◆救護施設 他

施設利用、見学等をご希望の方は
お気軽にご連絡下さい

社会福祉法人
北海道光生舎

☎079-1135
赤平市錦町2丁目6番地
TEL 0125-32-3221

障害者支援施設

北海道宏栄社

〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話 〇一一三四二五一一五五一
FAX 〇一一三四二九一三二八四

有限
岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘四丁目二二一四六
電話代表(〇一二)二二二一五五〇番